

「知の巨人」の足跡 ～南方熊楠翁生誕150周年～



谷川健一（2010年）『父を語る 柳田国男と南方熊楠』
富山房インターナショナル

※参考文献

http://www.minakata.org/

閩南方熊楠顕彰館 ☎0739（26）9909

閩南方熊楠顕彰館

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

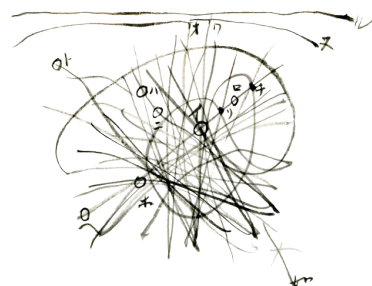
☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909

☎0739（26）9909



▲熊楠翁の世界観を表したとされる『南方マンダラ』



南方熊楠顕彰館

南方熊楠邸

【施設のご案内】

熊楠翁が晩年の25年を過ごした南方熊楠邸、熊楠翁の資料の保存・調査・公開など様々な事業を実施する南方熊楠顕彰館があります。

住所：中屋敷町36
開館時間：10時～17時（最終入館16時30分）
休館日：⑧、第2・4⑨、祝祭日の翌日、12月28日～1月4日
観覧料：南方熊楠邸のみ有料となります。

26 相談日程

22 みんなの広場

16 おしらせボックス

14 まちの話題

8 おしらせワイド

03 特集 「知の巨人」の足跡
～南方熊楠翁生誕150周年～

広報田辺 平成29年2月号・もくじ

主な電話番号等

- 田辺市役所 ☎646-8545 新屋敷町1
☎0739-22-5300（代） ☎0739-22-5310
- 市民総合センター ☎646-0028 高雄一丁目23-1
☎0739-26-4900（代） ☎0739-26-4914
- 龍神行政局 ☎645-0415 龍神村西376
☎0739-78-0111（代） ☎0739-78-0116
- 中辺路行政局 ☎646-1492 中辺路町栗栖川396-1
☎0739-64-0500（代） ☎0739-64-0966
- 大塔行政局 ☎646-1192 鮎川2567-1
☎0739-48-0301（代） ☎0739-49-0359
- 本宮行政局 ☎647-1792 本宮町本宮219
☎0735-42-0070（代） ☎0735-42-0239
- 市水道事業所 ☎646-0028 高雄三丁目18-1
☎0739-24-0011（代） ☎0739-24-7910
- 市ごみ処理場 ☎646-0053 元町2291-6
☎0739-24-6218（代） ☎0739-24-4068

電話案内サービス

- 防災行政テレフォンガイド ☎0120-963-910
- 救急安心センター ☎#7119

休日急患診療

場田辺広域休日急患診療所（市民総合センター玄関右側）
⑨内科・小児科系、⑩歯科の応急診療
⑪時⑫時 9時～11時30分、13時～16時
（※小児科のみ、⑬18時～21時30分も診療を行っています。）
⑭☎0739-26-4909



田辺市
ホームページ



モバイル用
ホームページ



防災行政
メール等



救急受診
ガイド

今月の表紙



熊楠翁が過ごした家

今回、モデルになっていただいたのはドイツ人のコンスタンス・パウワールさん。初めて訪れたという南方熊楠邸で、母屋や書斎にある縁側に座ったり、庭を歩いたり、様々な場所での撮影にご協力いただきました。

マークの説明

- | | |
|------------|------------|
| ①…日付・期間 | ②…定員 |
| ③…時間 | ④…料金・費用 |
| ⑤…休館日 | ⑥…持ち物 |
| ⑦…場所 | ⑧…申込み・申請方法 |
| ⑨…集合 | ⑩…問合せ |
| ⑪…内容 | [消印]…消印有効 |
| ⑫…対象・参加資格等 | [先着]…先着順 |

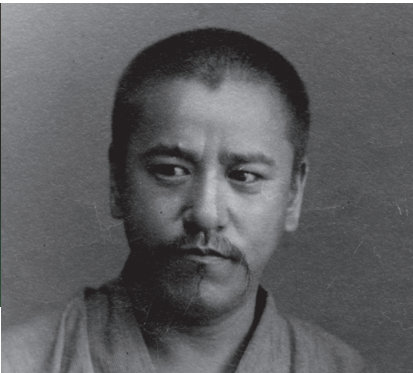
◇⑫マークには、振替休日等も含まれます。
◇申込み・問合せ等の受付については、基本的に①②③④を除く8時30分～17時15分です。
◇料金の記載のないものは、無料です。
◇申込み方法の記載のないものは、申込み不要です。
◇市役所の開庁時間は、⑤を除く⑥～⑧の8時30分～17時15分です。毎週⑨は、市民課・保険課・税務課の一部窓口を19時まで延長しています。



ツイッター・フェイスブックでも市の情報を発信しています。
http://www.city.tanabe.lg.jp/jyohou/sns.html

南方熊楠の生涯

天才・奇人・知の巨人……。その様々な異名からも分かるように、熊楠翁の活動は多岐にわたります。そんな熊楠翁の生涯を一からたどり、改めて、どのような人物だったのかをご紹介します。



▲熊楠翁が発見した新種の変形菌「アオウツボホコリ」

生誕～少年期

熊楠翁は和歌山市に生まれ、少年期には博物学者の鳥山啓の影響を受け、博物学の才能を伸ばしました。17歳のときに、大学予備門（現在の東京大学）に入学しましたが学校に行かず、ひたすら上野図書館に通い、日本・中国・西洋の本を読み、それらの筆写に没頭します。その影響で落第し、19歳で中退することとなりました。

海外へ

いったん和歌山に帰郷しますが、西洋の最新の科学思想を学ぶために渡米。その後、別の国に赴き、新種之地衣類を発見しました。さらに翌年の渡英後は、第1作目の「東洋の星座」を「ネイチャー」に投稿したほか、大英博物館図書室などの蔵書の抜書（ロンドン抜書）を52冊作成しました。しかし、実家からの送金が滞り、生活費が困窮

したことから、33歳で帰国。那智勝浦で植物採集に明け暮れる日々を送りました。

研究に没頭する日々

37歳のとき、那智勝浦での植物採集を終えた熊楠翁は、田辺に定住します。毎日のように山野へ調査に行き、4年ほどで50種余りの変形菌（粘菌）を発見したほか、藻や「真菌類」と呼ばれるキノコの研究にも力を注ぎました。現在、4000枚以上の藻類のプレパラート標本と詳細な英文説明の付いた3000種を超えるキノコの彩色図が、主に国立科学博物館植物研究部で残されています。49歳のときには自宅の柿の木で新属新種の変形菌を発見し、その5年後、「ミナカテラ」と命名されました。また、「エコロジ」という言葉を使い、「植物相互の関係」にも着目していたことから、政府に

よって行われた神社合祀の反対運動にもめりこみました。合祀推進の官吏がいる場所に押し掛け、住居侵入罪の容疑で拘留されたり、新聞投稿の記事が風俗を乱しているとされ、罰金を課せられたりもしました。

昭和天皇（当時は摂政宮）へ変形菌標本の進献を初めて果たしたのは、59歳のとき。熊楠翁は、門弟が単独で献上した分と合わせて4回の献上を果たしました。

最後まで信念を貫く

南方翁は、1941年12月29日に、74歳の生涯を閉じるまで、ひたむきに自身の信念を貫きました。亡くなる前日、床に着く際に、「天井に紫の花が一面に咲き実に気分が良い。頼むから今日は決して医師を呼ばないでくれ。医師が来れば天井の花が消えてしまうから」と言い残したそうです。



▲進献に使ったものと同型のキャラメル箱

こんなことがありました！

熊楠翁の小話

◇郵便を出すのをお手伝いさんに頼むのですが、ある日の夜遅くに、郵便を出してきてほしいと自分から頼んだのに「女性の一人歩きは危険だからついて行く」と言って、お手伝いさんの後ろから電灯を持ってついて行ったそうです。

◇田辺付近産の動植物の標本を大きなキャラメルのボール箱へ入れて昭和天皇へ献上した話は、有名な逸話の一つです。天皇陛下は、「普通献上というと桐の箱が何かに入れて来るのだが、南方はキャラメルのボール箱に入れて来てね。それでいいじゃないか」と渋沢敬三（大蔵大臣・日本銀行総裁）によく聞かせたそうです。

熊楠翁ゆかりの地

■日吉神社（磯間 23-33）

熊楠翁はこの神社の社殿や神社境内を囲うように密生している林が特異な形態であるとして、隣の神楽神社の森とともに、その保全を強く呼び掛けました。（写真①②）

■神島（田辺湾 ※上陸禁止）

熊楠翁は、田辺地域の自然が残る神島の重要性を強調し、地域住民とともに保全活動に取り組みました。その成果により、神島は、国の天然記念物に指定されました。また、昭和天皇が当地へ行幸されたとき、熊楠翁が進講したのを記念して「一枝もこころして吹け沖つ風 わか天皇のめましゝ森ぞ」（風よ、一枝も折らないように心して吹け。天皇陛下が愛でた（愛した、慈しんだ）森だぞ）と詠んだ熊楠翁の歌碑が建てられています。（写真③④）

■高山寺（稲成町 392）

熊楠翁は彼が愛した田辺のまちと神島を見渡す高山寺のお墓に眠っています。（写真⑤⑥）南側の麓には新種の変形菌「アオウツボホコリ」（4ページ参照）を発見した猿神社の跡があります。

和歌山市に生まれる。

東京大学予備門（現東京大学）に入学。

大学予備門を中退。12月に渡米。

アナバー市に移り、ミシガン州産諸菌を集める。

キューバに渡り、地衣類の新種「ダアレクタ・クバナ」を発見。

9月渡英。翌年第1作目の「東洋の星座」を『ネイチャー』に投稿。

大英博物館の嘱託となり、東洋図書目録を編纂。博物館図書室で、筆写（ロンドン抜書）を開始。全52冊に及ぶ。

大英博物館で孫文と出会う。

大英博物館を離れる。この頃『ノーツ・アンド・クエリーズ』に寄稿

を始める。

ロンドンより帰国。

植物採集のため、那智山の麓へ移る。

親友の喜多幅武三郎を頼り、田辺へ行く。

法輪寺・闘雞神社・田辺中学校の

蔵書を借りて筆写（田辺抜書）を開始。全61冊に及ぶ。

神社合祀反対運動を始める。

自宅の柿の木で新属新種の変形菌を発見。

右記の変形菌新属が「ミナカテラ」と命名される。

『南方閑話』『南方随筆』『続南方

随筆』刊行。初めて昭和天皇へ変

形菌標本の進献を果たす。

昭和天皇に神島で進講。

12月29日没。



生誕 150 周年を記念した
イベントを開催！

【プレイベント】

◎シンポジウム 宇宙大の熊楠

📅 3 月 4 日🕒 13 時 30 分～（開場 13 時）

📍 明治大学 駿河台キャンパス「リパティホール」

👤 400 名

■基調講演

◇地上の自然

中沢 新一 氏（明治大学野生の科学研究所所長）

◇熊楠の『星』をめぐる

鏡リュウジ 氏（占星術研究家）

■パネルディスカッション

◇パネリスト

中沢新一氏、鏡リュウジ氏、曾我部大剛氏（高山寺住職）、真砂充敏市長

◇コーディネーター

唐澤太輔氏（龍谷大学世界仏教文化研究センター博士研究員）

※田辺市の宣伝ブースも設置予定です。

【南方熊楠翁生誕 150 周年記念事業（概要）】

※内容及び日程は、変更する可能性があります。

◎田辺市熊野短歌大会・俳句大会

N H K 学園との共催で、熊楠翁もたしなんだ俳句と短歌の大会を開催します。

📅 7 月 1 日🕒、2 日🕒

📍 紀南文化会館「小ホール」

◎第 9 回国際変形菌類分類生態学会議

熊楠翁が研究した変形菌（粘菌）の国際学会を誘致します。

📅 8 月 19 日🕒～22 日🕒

📍◇メイン会場 たなべる 2 階「大会議室」

◇開会式・記念講演会 紀南文化会館「小ホール」

👤 海外 50 名、国内 50 名

◎記念式典・フォーラム

📅 10 月 22 日🕒

📍 紀南文化会館「大ホール」

◎記念企画展「南方熊楠展」（仮称）

「現在の科学から見た南方熊楠」をテーマに開催します。

📅 12 月 19 日🕒～平成 30 年 3 月 4 日🕒

📍 国立科学博物館

※期間中、白浜の南方熊楠記念館と共催で実施している南方熊楠ゼミナールを開催します。



南方熊楠顕彰会
常任理事・学術部長
田村 義也

らの文献を翻訳して紹介するだけで大きな価値があったわけです。
安田 そういう形で、熊楠翁は世界的に新しい研究の最先端に乗っかって、活躍していました。
田村 田辺に住み、田辺の生活や習慣のことを知っている。そんな方に南方の資料を是非読んでいただきたいと思います。そこから研究に参加してくださる方がいらっしゃればうれしいです。
文枝さんは、父親のことを深く尊敬していて、父親の残した仕事 が正しく世に伝わるように、理解されるようにということをずっと考えていらっしやいました。熊楠

翁が残した様々な学問・分野にわたる資料は、光の当て方次第でどのようにでも輝く宝の山。たくさんの方に顕彰館や南方熊楠邸の資料を活用していただきたいですね。
安田 生誕150周年を迎えた今年は、熊楠翁がメディアに取り上げられることが増えるだろうし、情報発信も多くなると思います。熊楠翁は、まちの偉人というだけでなく、この国が生んだものすごくユニークな人。市民の方にも是非知っていただいて、彼のスケールを身近に感じてもらいたいですね。熊楠翁が残した足跡をどう生かしていくかが、これからの課題です。

取材を終えて――
今まで思い描いていた南方熊楠翁のイメージが、少し変わりました。自分とかけ離れた人ではなく少し身近になったような、もつとスケールが大きくなったような。確かなのは、熊楠翁の全てを知るにはまだまだ時間が掛かるということです。
今年は熊楠翁に関する様々な催しがあります。是非ご参加いただき、まだ知らない熊楠翁の新たな一面を見つけてみてはいかがでしょう。きつと、今までとは違う熊楠翁の姿が見えてくると思います。

田村 熊楠翁の長女である文枝さんが、父親の資料を調査してほしいと望まれたことから、顕彰会による調査が始まりました。熊楠翁が亡くなってから50年くらいたっていました。残された資料はほぼ手付かずでした。資料は実に多様な分野にわたり、熊楠翁はどれについてもそれなりに突っ込んで取り組んでいるんです。素人離れした水準で、きちんと真剣に扱うべきものが残っています。その取組や人間性はとても多面的で、それゆえに熊楠翁の全貌がいまだによく分からないんですよね。
安田 平成の初めの頃に出版された熊楠翁に関する本は、「世界の熊楠だ！」という紹介の仕方が多

熊楠翁が残したもの
安田 熊楠翁が残したものは、本当にたくさんあります。専門分野を持たず、いろいろな分野に取り組んだ人だから。その中でも一番面白いものを選ぶとしたら、南方熊楠邸ですね。
田村 家と庭は、訪ねてゆつくりと見る価値があると思います。それから、熊楠翁は、膨大な量のキノコの採集と観察資料を残しています。こうしたことから、かなりの時間を使って生物の採集をしていたのは間違いありません。変形菌の新種の発見は10種くらい

あり、それだけでもとてもすごいフィールドワーカー（野外に出て研究する人）と言えます。しかし、このジャンルで論文は書いていないんですよ。書いているのは昔話のような伝説や民話、西洋と東洋の文化の比較といったもの。彼のしていることが理解しにくい理由の一つはそこにあつて、一番時間を費やした分野では業績がないんです。
安田 熊楠翁は、研究者というより収集家なんです。研究者も顔負けの知識を持っていたのかもしれないけど、あくまでアマチュアで、何一つプロじゃなかった。そういうところも彼のユニークなところですよ。

熊楠翁の研究とこれから
田村 研究が進み、今ではようやく熊楠翁を事実に基づいて正面から評価できるようになり、だんだんと南方熊楠像が見えてきました。熊楠翁の研究が進むに伴って、彼のイメージはどんどん変わっていくと思いますね。
熊楠翁は、当時、ヨーロッパで始まっていた研究を視野に入れていた人で、単にその研究資料の読者というのではなく、その潮流に乗っていました。この時代、欧米の世界では日本語や中国語が読める研究者が少なかったので、これ

南方熊楠を語る

数々の功績とともに様々な逸話を残している熊楠翁。そんな彼を 20 年以上研究している南方熊楠顕彰会の田村義也さんと安田忠典さんに、熊楠翁について伺いました。

熊楠翁はよく分からない人
田村 熊楠翁に関する本は時々見掛けますが、最近は傾向が変わってきていて、言い伝えだけではなく、事実を裏付けた上での記述が確実に増えています。それは、彼の残した資料の研究が進んできたからなんですよ。これまでの調査に基づく情報発信を田辺市が続けてきたことの成果だと思います。



熊楠翁の名を冠した賞
平成 2 年 10 月 20 日、熊楠翁没後 50 周年記念式典を開催し、市民の誇りとして熊楠翁の偉業を称え「南方熊楠賞」を制定しました。この賞は、国内外を問わず熊楠翁の研究対象であった民俗学的分野・博物学的分野の研究に顕著な業績のあった研究者に贈り、また、特別賞として熊楠翁の研究に顕著な業績のあった研究者に、それぞれ賞状及びトロフィー並びに副賞を贈るものです。